

ジベトス錠を服用される方へ

血糖値を下げるお薬が処方されています。

・乳酸アシドーシスや危険な低血糖症を起こすことがありますので、以下の点に注意してください。

[この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。]



ジベトス錠50mg

1. 乳酸アシドーシスについての注意

(1) 乳酸アシドーシスとは

◆ 血液中の乳酸が増えて酸性になった状態です。まれに起こる副作用ですが、治療が必要な状態です。特に、腎臓や肝臓、心臓に病気のある人に起きやすいとされています。また、高齢者では腎臓や肝臓の機能が低下していることが多いため注意が必要です。以下の症状がみられたら乳酸アシドーシスの可能性がありますので、このお薬を飲むのを直ちに止め、すぐに主治医または薬剤師にご連絡ください。

吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、筋肉痛、全身がだるい、息苦しい

(2) 乳酸アシドーシスの予防について

- ◆ **腎臓**や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことがある人は、主治医に申し出てください。
- ◆ お酒を飲みすぎないようにしてください。
- ◆ このお薬を飲んでいる方は、定期的に腎機能検査や肝機能検査を受けてください。腎臓に病気のある人では検査の回数が増えることがあります。
- ◆ **ヨード造影剤**を使う検査や治療（造影CT、尿路造影、血管造影など）をするときはこのお薬を飲んでいることを事前に医師に申し出てください。ヨード造影剤を使う検査や治療前は、このお薬を飲むのを一時中止してください。また、検査や治療後48時間はこの薬を飲まないでください。
- ◆ 手術を受ける場合は、このお薬を飲んでいることを事前に医師に申し出てください。
- ◆ 他の医師から何かお薬を処方してもらうときは、このお薬を飲んでいることを申し出てください。
- ◆ 脱水状態のときは、このお薬を飲まないでください。発熱、下痢、嘔吐、食事が十分にとれない時も脱水状態になる可能性がありますので、いったん飲むのを止め、主治医または薬剤師に相談してください。

裏面も必ずご覧ください

2. 低血糖症についての注意

(1) 低血糖症とは(この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせてください)

- ◆ 血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力の抜けた感じ、発汗、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭痛があったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。低血糖症は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。



(2) 低血糖症が起きたら

- ◆ 低血糖症になっても軽いうちは糖分を食べると治ります。心だんから砂糖などを持ち歩き、**がまんせずにすぐその場でとることが必要です。**ただし、アカルボース製剤、ボグリボース製剤、ミグリトール製剤を併用している場合には砂糖では効果がすぐにあわれませません。必ず**ブドウ糖**をとってください。
- ◆ 十分注意していても、ときには意識を失うような強い低血糖症が起こらないとも限りませんから、**自分は現在糖尿病でお薬を服用していることを書いたカードを身につけておき、**すぐに治療してもらえるようにしておくことが安全です。
- ◆ 低血糖症を起こした場合は、必ず早目に主治医に報告してください。

(3) 低血糖症の予防には

- ◆ お薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方をかえるような**自己流のやり方は危険**です。
- ◆ 食事をみだりに減らしたり、抜いたりしないよう**食事療法はきちんと守ることが大切**です。お酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖症を起こしやすいので注意してください。食事がとれない時は、主治医に連絡してその指示を受けてください。
- ◆ お薬の中には、いっしょに服用すると低血糖症を起こすものがあります。**何か別のお薬を服用する時には、主治医に相談してください。**他の医師に何かお薬を処方してもらう時には、すでにこのお薬を服用していることを申し出てください。

高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖症を起こすと事故につながりますので特に注意してください。

3. 服用方法や保管方法などについての注意

- ◆ お薬の量や飲み方は、主治医または薬剤師の指導を正しく守ってください。食事をとれなかった時の飲み方は、主治医または薬剤師にご相談ください。
- ◆ 飲み忘れた時は、次に服用する時間に1回分を服用してください。2回分を一度に服用しないでください。
- ◆ 直射日光・高温多湿を避けて、子供の手の届かない所に保管してください。
- ◆ このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人(親、兄弟、姉妹、友人など)に絶対渡さないでください。